

令和7年度事業報告書

I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って令和7年度も、細胞科学分野における研究助成13件、国内若手研究者の育成助成として海外への留学10件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘および海外派遣9件に対して助成金を交付した。

令和8年度の各種助成のためにそれぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成118件、育成助成36件、国際交流助成9件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、令和8年度助成対象者を選出した。

なお、令和8年度より国際交流助成については、理事・評議員の推薦に加えて企画委員からの推薦でも応募可とし、細胞科学研究財団内の複数の助成に対して応募することを不可（ただし、国際交流助成の演者招聘についてはその限りではない）とした。

また、令和5年度各種助成金贈呈者を中心に研究成果として研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

II. 事業の内容

1. 令和7年度助成金の交付

令和7年度各種助成については、研究助成13件、育成助成10件および国際交流助成9件が令和7年2月28日開催の令和6年度第3回理事会において議決承認された。令和7年4月より研究助成13件（1件500万円、総額6,500万円）、育成助成10件（1件120万円、総額1,200万円）および国際交流助成9件（100万円1件、53万円1件、50万円6件、40万円1件、総額493万円）のそれぞれに順次、助成金（総額8,193万円）を交付した【資料1】。

国際交流助成9件のうち1件（海外派遣）が、体調不調のため渡航を中止・助成金返金の申し出があったため、助成金交付者は、8件となった（返金額50万円）。また、被招聘者が他業務と合わせて対日し、旅費を負担されたことから、助成金が一部返金（約26万円）された。

2. 令和7年度研究助成金贈呈式開催

令和7年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

開催日時：令和7年6月7日（土）午後12時00分より

場所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町19-19）

3. 令和8年度助成事業

(1) 各種助成の募集の細目

令和7年4月22日開催の企画委員会での検討を経て、令和7年5月7日の第1回

理事会（書面決議）で以下のように決定した【資料2】。

研究助成

募集テーマ：① 慢性炎症－基礎と臨床－
② オルガネラバイオロジー

応募受付期間：令和7年9月1日から令和7年9月30日まで

専門委員：

テーマ① 平原 潔 先生 千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学 教授
村上 正晃 先生 北海道大学遺伝子病制御研究所所長・教授，
量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所チー
ムリーダー，
自然科学研究機構生理学研究所 教授

[選考委員からの専門分野担当]

柳田 素子 先生 京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学 教授

テーマ② 石原 直忠 先生 大阪大学大学院理学研究科 生物科専攻 教授
中野 明彦 先生 東京科学大学総合研究院高等研究府客員教授，
理化学研究所光量子工学 研究センター客員主管研究員，
東京大学名誉教授

[選考委員からの専門分野担当]

青木 淳賢 先生 東京大学大学院薬学系研究科 衛生化学 教授

※所属・役職は就任時

育成助成および国際交流助成

応募受付期間：令和7年9月1日から令和7年10月31日まで

(2) 募集

全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設約 180 を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開したその結果、応募数は以下の通りであった。

研究助成

応募数は計 118 件（テーマ①：70 件、テーマ②：48 件）であった。

育成助成

応募数は 36 件であった。

国際交流助成

応募数は 9 件（海外派遣 2 件、招聘 7 件）であった。

(3) 選考

研究助成：三段階方式による選考

1. 令和7年10月15日～11月17日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として 29 件（テーマ①：17 件、テーマ②：12 件）に絞られた。

2. 令和7年12月8日～令和8年1月13日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
3. 令和8年1月30日：本審査（以下の通り）

育成助成および国際交流助成

1. 令和7年12月8日～令和8年1月13日：選考委員による予備審査（書面）が行われた。
2. 令和8年1月30日：本審査（以下の通り）

令和8年1月30日：本審査

開催日時：令和8年1月30日（金）午後4時より

場 所：東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内 1-9-1）

選考委員および専門委員により令和8年度各種助成交付対象者（研究助成13件：1件500万円 総額6,500万円、育成助成10件：1件120万円 総額1,200万円、国際交流助成9件[海外派遣2件、招聘7件]：35万円1件、50万円1件、58万円1件60万円6件 総額503万円）が選出され、理事長に答申された。令和8年2月27日に開催された第4回理事会において、原案通り議決承認された【資料3】。

4. 助成研究報告集等

令和5年度各種助成金受領者を中心に、研究成果として研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめた細胞科学研究財団助成研究報告集第36巻（令和7年）、および財団年報第37号（令和6年度）を一冊に収めた「助成研究報告集・年報第10巻（令和7年）」を令和7年10月1日に発刊し、全国の国公私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

5. その他

以下について、助成金が返金された。

令和3年度国際交流助成（招聘中止に伴う全額返金 返金額 40万円）

招聘責任者：自然科学研究機構 生理学研究所 窪田芳之

コロナ感染流行により、招聘が延期（計画変更届受理）され、令和7年度に来日を調整したが国際情勢が不安となり、帰国が困難な可能性があるため、招聘を断念。

III. 財団運営の概況

1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和7年5月7日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 令和6年度事業報告書(案)および令和6年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 令和8年度各種助成 募集要項に関する件：原案通り承認可決された。
なお、国際交流助成は、令和7年度同様、助成金総額を500万円程度とし、理事・評議員の推薦に加えて企画委員からの推薦でも応募可とすること、細胞科学研究財団内の複数の助成に対して応募することを不可とすること（ただし、国際交流助成の演者招聘についてはその限りではない）、その旨財団HPの募集ページに掲載することについても同意を得た。

第3号議題 令和7年度定時評議員開催日、場所、目的ある事項の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 評議員候補者選任の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 理事候補者選任の件：原案通り承認可決された。

2. 定時評議員会

開催日時：令和7年6月7日（土）午前11時より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第1号議題 議長選任の件：互選により武田禮二氏が評議員会議長に選任された。

第2号議題 議事録署名人選任の件：互選により稲葉カヨ氏および米田悦啓氏が選任された。

第3号議題 令和6年度事業報告および令和6年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 評議員選任の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 理事選任の件：原案通り承認可決された。

報告事項1 令和8年度各種助成募集について：令和7年度第1回理事会で承認されたことを報告した。

3. 第2回理事会

開催日時：令和7年6月7日（土）午前11時25分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第1号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 事務局長選任の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 助成研究報告集のWeb化について：原案通り承認可決された。

第4号議題 企画委員会規程改定の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：

理事長及び常務理事は令和7年3月3日以降の業務執行状況報告を行った。

育成助成の中止・計画変更等について：

育成助成者のやむを得ない事由での留学先等の変更にかかわる基

本的な考え方に関して共有を行った。

4. 第3回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和7年10月20日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 事務所移転に伴う登記及び内閣府への変更届出の件：原案通り承認可決された。

5. 第4回理事会

開催日時：令和8年2月27日（金）午後5時より

場 所：丸の内ホテル 9階会議室

（東京都千代田区丸の内1-6-3）

第1号議題：令和8年度助成金交付者の件：原案通り承認可決された。

研究助成の採択者数12件程度に対し12件を候補者として選出したが、テーマ②の次点者も大変優れた研究内容であり、書類審査の得点も僅差で優劣をつけ難いことから候補者として選出し、計13件とすることについても承認可決された。

第2号議題：令和8年度研究助成金準備資金設置の件：原案通り承認可決された。

第3号議題：令和8年度事業計画の件：原案通り承認可決された。

第4号議題：令和8年度収支予算の件：原案通り承認可決された。

第5号議題：6号財産取崩しの件：原案通り承認可決された。

第6号議題：資金調達及び設備投資の見込みについて：原案通り承認可決された。

第7号議題：事業年度開始において行う公益目的事業の種類又は内容、収益事業等の内容の件：原案通り承認可決された。

第8号議題：選考委員長任期満了に伴う改選の件：原案通り承認可決された。

第9号議題：規程・規則等改定の件：原案通り承認可決された。

改定する規程・規則

- ・ 公印取扱規程
- ・ 会計処理規則
- ・ 助成金交付規程
- ・ 費用の弁償及び報酬に関する規則

報告事項：理事長および常務理事の業務執行状況報告

- ・ 財団運営について
- ・ 特定資産の運用について
- ・ 国際交流助成返金について
- ・ 研究助成贈呈の記念品の変更について
- ・ 報告集 Web 化の進捗報告について

- ・ 財団ホームページの変更について
- ・ 令和 8 年度理事・監事改選について

5. その他

令和 7 年 06 月 20 日 内閣府に令和 6 度事業報告書等の定期提出書類を Web 提出した。

令和 7 年 06 月 30 日 内閣府に評議員、理事の変更届書類を Web 提出した。

令和 7 年 09 月 24 日 内閣府 立入検査

令和 7 年 11 月 20 日 財団事務所移転の登記完了

令和 7 年 12 月 03 日 内閣府に事務移転による変更届出書類を Web 提出した。

令和 8 年 03 月 23 日 内閣府に令和 8 年度事業計画および予算の定期提出書類を Web 提出した。

IV. 法人の運営体制の充実を図るための取組

内部牽制を強化するために、常務理事（業務執行理事）が、公印、金融機関届印の使用を定期的を確認するように「公印取扱規程」、「会計処理規程」を改定した。

V. 添付資料

- 【資料 1】 令和 7 年度各種助成金受領者名簿
- 【資料 2】 令和 8 年度各種助成募集要項
- 【資料 3】 令和 8 年度各種助成金受領者名簿

以上

令和7年度 研究助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件500万円13件, 計6,500万円)

テーマ1: 老化の科学

研究者	所属機関・職名	研究題目
新 幸二 アタシ コウジ	九州大学大学院 医学研究院 細菌学分野・教授	腸内細菌を介した老化制御機構の解明
落合 博 オチアイ ヒロシ	九州大学 生体防御医学研究所 遺伝子発現動態学分野・教授	老化組織における遺伝子発現の空間的変動と転写ノイズの解明
昆 彩奈 コン アヤナ	東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 血液・腫瘍生物学分野・准教授	老化に起因するクローン性造血からがんへの進展メカニズムの解明
高杉 征樹 タカシギ マサキ	大阪公立大学大学院 医学研究科 病態生理学・講師	老化組織に蓄積するIgGのインタラクトーム解析を起点とする加齢性自己抗体の産生メカニズムとその生理的意義の解明
西村 多喜 ニシムラ タキ	大阪大学 蛋白質研究所・教授	抗老化作用を示すリソソーム分解依存的な脂質シグナルの解明
丸山 剛 マルヤマ タケシ	東京薬科大学生命科学部・教授	老化細胞のMHC-I認識を介した上皮細胞による貪食様取込
吉田 健一 ヨシダ ケンイチ	国立がん研究センター 研究所 がん進展研究分野・分野長	正常・病的老化におけるゲノム不安定性の役割の解明
劉 孟佳 リュウ リカ	熊本大学 国際先端医学研究機構 幹細胞ストレス研究室・特任講師	心血管老化関連疾患発症に関わるマクロファージ起源と役割

テーマ2：線維芽細胞－基礎と臨床－

研究者	所属機関・職名	研究題目
倉島 洋介 クラシマ ヨシノブ	千葉大学大学院 医学研究院 イノベーション医学・准教授	新たな線維芽細胞亜群を起点とした線維化増悪機構の解明
貞廣 威太郎 サダヒロ タケタロウ	慶應義塾大学医学部 循環器内科・助教	心臓線維化と心臓再生過程における線維芽細胞エピゲノム制御機構の解明
仁科 隆史 ニシタ タカシ	東邦大学医学部 生化学講座 病態生化学分野・講師	炎症性癌関連線維芽細胞を標的とした大腸癌進展機構の解明と新規治療戦略の開発
前田 深春 マエダ シバル	秋田大学大学院 医学系研究科 ・助教	線維芽細胞におけるコラーゲン分泌機構の解析
本村 泰隆 モトムラ ヤスタカ	東京理科大学 研究推進機構 生命医科学研究所 免疫アレルギー部門・准教授	肺線維症を引き起こす病原性線維芽細胞の誘導メカニズムの解明

令和7年度 育成助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件120万円10件, 1,200万円)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
新井 絢也 アライ ジュンヤ	朝日生命成人病研究所附 属医院 消化器内科・医員 兼主任研究員	分子生物学的分類に基づいた胃癌における 癌幹細胞の同定と新規治療の開発 Columbia University
飯島 綾菜 イジマ アヤ	筑波大学人間総合学術院 人間総合科学研究群 ヒュ ーマンバイオロジー学位 プログラム・大学院生	アトピー性皮膚炎におけるインターロイキ ン-18 (IL-18)の機能解析及びその治療応用 Icahn School of Medicine at Mount Sinai
福井 文望 フカイ アヤノ	東京大学 医科学研究所 感染免疫部門 ウイルス病 態制御分野・特任研究員	質量分析を用いたHCMV感染によるオルガネ ラリモデリング分子機構解明 Princeton University
方 凌艶 ホウ リョウエン	東京大学大学院 薬学系研 究科 分子生物学教室・助 教	糖嗜好形成の分子・神経回路基盤の解明 Duke University
松田 研史郎 マツダ ケンシロウ	筑波大学医学医療系・助教	マスト細胞の脱分化・再分化制御によるア レルギー治療基盤の創出 Harvard Medical School
水野 裕理 ミズノ ユリ	国際医療福祉大学 医学部 脳神経内科学教室・助教	神経細胞及びグリア細胞におけるトランス サイレチンのアミロイドβクリアランス能 に着目したアルツハイマー病の病態の解明 Umea University
宮澤 一雄 ミヤザワ カズオ	理化学研究所 生命医科学 研究センター 循環器ゲ ノミクス・インフォマティ クス研究チーム・研究員	一細胞レベルの時空間的遺伝子発現プロフ ァイルとゲノミクスの統合による循環器疾 患の病態解明 The Broad Institute of MIT and Harvard

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
宮本 智史 ミヤモト サトシ	東京科学大学・大学病院 発生発達病態学（小児科）・助教	IL1Ra 欠損症に対するレンチウイルスを用いた遺伝子治療の開発 National Institute of Allergy and Infectious Diseases
山野 真由 ヤマノ マユ	京都大学薬学研究科 代謝ゲノム薬学分野・日本学術振興会特別研究員	性ホルモン受容体を介した性差解明による性的多様性の解明と個別化医療への応用 University of California Los Angeles (UCLA)
若松 学 ワカマツ マナブ	名古屋大学 医学部附属病院 小児科・助教	単一細胞解析を基盤とした若年性骨髄単球形白血病における治療抵抗性メカニズムの探索 St. Jude Children' s Research Hospital

令和7年度 国際交流助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(100万円1件, 53万円1件, 50万円6件, 40万円1件)

(海外派遣)

研究者名	所属機関 職名	派遣先大学(研究機関) 期間・滞在地	助成金額
酒井 尚雄 カキ タカ	藤田医科大学 医学部 病理診断学講座 教授	Univ Wisconsin Madison USA 並びに Case Western Reserve University USA 2025/05/15 ~ 2025/05/25 Madison WI USA; Cleveland OH USA	50万円

(招聘)

招聘者名 所属機関・職名	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地	助成金額
油谷 浩幸 アブラタニ ヒロユキ 東京大学 先端科学 技術研究センター ゲノムサイエンス& メディシン・シニア リサーチフェロー	Dan Landau Weill Cornell Medicine Graduate School of Medical Sciences	第15回国際ゲノム会議 2025/07/02 ~ 2025/07/04 東京	100万円
井垣 達吏 カキ タツ 京都大学大学院 生 命科学研究科・教授	鳥居啓子 University of Texas at Austin	一般社団法人日本細胞生物学 会 2025/07/15 ~ 2025/07/19 ウインクあいち (愛知県名古屋 市)	50万円
小比賀 聡 オヒカガ サトシ 大阪大学大学院 薬 学研究科・教授	David Tai Leong シンガポール国立大学 (National University of Singapore)	日本薬学会第146年会 2026/03/26 ~ 2026/03/29 関西大学 (大阪)	50万円

(招聘)

招聘者名 所属機関・職名	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地	助成金額
澤本 和延 サトト カズノブ 名古屋市立大学大学院 医学研究科 脳神経科学研究所 神経発達・再生医学分野・教授	Arturo Alvarez-Buylla カリフォルニア大学サンフランシスコ校	第 68 回日本神経化学会大会 2025/09/11 ~ 2025/09/13 名古屋	50 万円
藤山 文乃 フジヤマ フミノ 北海道大学大学院 医学研究院・教授	Maiken Nedergaard University of Rochester	第 48 回日本神経科学大会 2025/07/24 ~ 2025/07/27 朱鷺メッセ	50 万円
村上 正晃 ムラカミ マサキ 北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子神経免疫学分野・教授	Alexander Chouker Ludwig Maximilian University of Munich (LMU)	第 44 回国際重力生理学会 (ISGP2025) 2025/05/18 ~ 2025/05/23 北海道大学医学部学友会館「フラテ」 医学部百年記念館	40 万円
村田 茂穂 ムラタ シゲオ 東京大学大学院 薬学系研究科 蛋白質代謝学教室・教授	Daniel Finley ハーバード大学医学部	タンパク質・オルガネラ寿命制御に関する国際会議 2025/10/30 ~ 2025/11/02 奈良春日野国際フォーラム 豊	50 万円
山崎 晶 ヤマザキ ショウ 大阪大学 微生物病研究所・教授	Federica Sallusto Institute for Research in Biomedicine Bellinzona Switzerland / Institute of Microbiology Zurich Switzerland	第 2 回日本サイトカイン学会 学術集会 2025/06/19 ~ 2025/06/20 千里ライフサイエンスセンター	53 万円

令和

8

年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

研究助成 募集要項

1. 研究助成の対象となる**テーマ：**

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。
但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。

- ①「慢性炎症－基礎と臨床－」
- ②「オルガネラバイオロジー」

2. 助成金額：

500万円／1件（助成期間：2年間）

採択件数：

12件程度

3. 応募資格：

国内の研究機関等に所属する令和7年9月1日現在満45才未満の独立した研究者
（大型研究費を受けておられる方はご遠慮ください）

4. 応募方法：

- (1) Web システムよりご応募ください。
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。
- (2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）
あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得てください。
推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し
役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に
限り推薦できます。
- (3) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

5. 応募受付期間：

令和7年9月1日（月）より9月30日（火）

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させて
いただきます。
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

**9. 採否通知および
助成金の交付について：**

採否は決定後直ち（令和8年3月頃）に申請者へお知らせいたします。
助成金は令和8年4月以降に全額を贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996
URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>
（または右記 QR コード）



令和
8
年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

育成助成 募集要項

1. 育成助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、海外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。

- イ. 当財団理事または評議員あるいは所属機関長・所属部門長(部長、専攻長等ただし教授を除く)の推薦を受けた者(各推薦者は1名に限り推薦できます)
- ロ. 令和7年9月1日現在 満40才以下の研究者
- ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(令和8年4月以降令和9年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者
- ニ. 原則として1年以上の育成期間を予定している者
- ホ. 他機関からの助成金との重複は可能です。

2. 給付金額： 採択件数：

1件 120万円/年
10件

3. 給付期間：

1年間

4. 応募方法：

- (1) Webシステムよりご応募ください。
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。
- (2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

5. 応募受付期間：

令和7年9月1日(月)より10月31日(金)

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および留学報告書を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

9. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち(令和8年3月頃)に申請者へお知らせいたします。
助成金は令和8年4月以降に贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996
URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>
(または右記QRコード)



国際交流助成 募集要項

1. 国際交流助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。

イ. 当財団理事、評議員、企画委員の推薦を受けた者

(各理事、評議員、企画委員は1名に限り推薦できます)

ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者

ハ. 年度内(令和8年4月以降令和9年3月末までの間)に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者
なお、Web開催での会議、シンポジウムも対象といたします。

ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。

2. 助成金額：

20～100万円／1件 総額500万円程度

(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短、開催方法等を勘案して決定されます。希望助成額の大まかな内訳をご記入ください)

3. 応募方法：

(1) Web システムよりご応募ください。

詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。

(2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

4. 応募受付期間：

令和7年9月1日(月)より10月31日(金)

5. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

6. 報告義務：

収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。

7. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

8. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち(令和8年3月頃)に申請者へお知らせいたします。

助成金は令和8年4月以降に贈呈いたします。

9. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>

(または右記QRコード)



令和8年度 研究助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件500万円13件, 計6,500万円)

テーマ1：慢性炎症－基礎と臨床－

研究者	所属機関・職名	研究題目
生島 芳子 イクシマ ヨシコ	東北大学 SiRIUS (医学イノベーション研究所) 医学創生研究部・講師	肥満時の慢性炎症病態における骨髄脂肪の役割の解明
板橋 耕太 イタハシ コウタ	国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫トランスレーショナルリサーチ分野・ユニット長	慢性炎症による抗腫瘍免疫疲弊の分子基盤解明
奥村 龍 オクムラ リュウ	大阪大学 大学院医学系研究科 免疫制御学・助教	炎症性腸疾患病態に関わる糖鎖修飾制御機構の解明
河本 新平 カワモト シンペイ	東北大学加齢医学研究所 加齢制御研究部門加齢生物学分野・教授	腸内細菌依存的な慢性炎症の誘導機構と組織老化への影響の解明
姜 秀辰 カン シュン	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター・寄附研究部門准教授 (主任研究者)	脂質オルガネラ動態研究による炎症代謝制御機構の解明
候 聡志 コウ トシキ	東京大学大学院医学系研究科 先端循環器医科学講座／東京大学医学部附属病院循環器内科・特任助教	慢性炎症を惹起するクローン性造血に対する新規治療戦略開発
佐久間 一基 サカマ イッキ	千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学・特任准教授	脂肪毒性による慢性炎症機構の解明に基づく代謝機能障害関連脂肪肝炎の新規治療戦略の開発

テーマ2：オルガネラバイオロジー

研究者	所属機関・職名	研究題目
大場 陽介 オハ ヨウスケ	慶應義塾大学 薬学部 代謝生理化学講座・専任講師	高深度オルガネラリポドミクスの技術開発とその応用
齋藤 敦 サイトウ アツシ	金沢大学 医薬保健研究域医学系 先鋭科学融合研究分野・教授	非定型小胞体ストレス応答が制御するオルガネラバイオロジーと疾患
篠田 沙緒里 シノダ サオリ	東京大学定量生命科学研究所 RNA 機能分野・助教	真核生物におけるストレス応答性 RNA 輸送を介したミトコンドリア制御機構の解析
蜷川 暁 ニガハワ サトシ	神戸大学 バイオシグナル総合研究センター・准教授	細胞外小胞における積荷タンパク質の選別・積載原理の解明とその応用
森下 英晃 モリシタ ヒデアキ	九州大学 大学院医学研究院 生体機能学分野・教授	新規オルガネラ分解機構「PLAAT システム」の包括的解明
山野 晃史 ヤマノ コウジ	東京都医学総合研究所 先端基礎医科学研究分野 品質管理プロジェクト・プロジェクトリーダー	新規オートファジー制御機構とオルガネラ恒常性破綻に起因する神経疾患病態の解明

令和8年度 育成助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件120万円10件, 1,200万円)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
荒瀬 充 アラセ ミツル	大阪大学 大学院医学系研究科 感染症・免疫学講座 免疫制御学教室・特任研究員	自己免疫性神経疾患における自己応答性 T 細胞の探索 IRCCS San Raffaele Hospital
小川 正太郎 カガリ ショウタロウ	東京大学 医学部附属病院 脳神経外科・病院診療医 (日本学術振興会特別研究員)	新規血管周囲細胞遺伝子改変モデルを用いた、脳海綿状血管奇形発症機序解明と治療法発見 ICM (Paris Brain Institute)
小室 仁 コムロ ジン	東京大学大学院医学系研究科 先端循環器医科学講座・特任研究員	心不全・心筋症の病態解明と新規治療法開発に向けた非心筋細胞の役割と細胞間相互作用の解析 Goethe-University Frankfurt
柴田 峻 シバタ シュン	東北大学大学院医学系研究科 環境遺伝医学総合研究センター 情報遺伝学分野・助教	子宮受容性の分子基盤解明に基づく不妊症制御戦略の開発 ウェルカム・サンガー研究所
神馬 崇宏 ジンバ タカヒロ	東京大学 医学部附属病院 循環器内科・病院診療医	心臓老化・不全化機序の空間分解マルチオミクス解析 University of Cambridge
千丈 創 チジヤウ ハジメ	北海道大学大学院医学研究院 血液内科学教室・客員研究員	ドナーT細胞疲弊による造血幹細胞移植後の免疫寛容機構の解明と GVHD・移植後再発の疾患制御 Baylor College of Medicine
古宮 健至 フルミヤ タケル	大阪大学 大学院医学系研究科 分子神経科学・助教	癌性髄膜炎における硬膜病理の探究 Harvard Medical School

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
堀野 大智 ホリノ タイチ	熊本大学 生命科学研究部 消化器外科学・特定研究員	若年性大腸癌の発癌・腫瘍進展メカニズムの解明 Harvard Medical School Brigham and Women's Hospital
前田 勇貴 マエダ ユウキ	名古屋大学大学院 医学系 研究科 生体反応病理学講座 ・博士課程大学院生	フェロトーシス抑制因子 PRDX6 を応用した細胞死抑制機構の解明と革新的がん治療戦略の創出 Helmholtz Zentrum Munchen
藪下 知宏 ヤブシタ トモヒロ	熊本大学 国際先端医学研究機構 ・特別研究員	周生期における胎仔肝から骨髄への造血幹細胞移行機構の包括的解明 Cincinnati Children's Hospital Medical Center

令和8年度 国際交流助成金受領者
(所属機関名は申請時)

(60万円6件, 58万円1件, 50万円1件, 35万円1件)

(海外派遣)

研究者名	所属機関 職名	学会名 期間・滞在地	助成金額
小林 一三 コバヤシ イヅウ	基礎生物学研究所 ゲノム情報研究室・特別協力研究員	CHRO2026 2026/11/03 ~ 2026/11/05 Ho Chi Minh Vietnam	35万円
LIU YANG リュウ ヨウ	東京慈恵会医科大学 分子生物学講座・助教	Cell Bio 2026 2026/12/12 ~ 2026/12/16 San Diego California	60万円

(招聘)

招聘者名 所属機関・職名	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地	助成金額
審良 静男 アキラ シズオ 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学分野・特任教授	Zhijian (James) Chen The University of Texas Southwestern Medical Center	第三回国際核酸免疫学会年次大会 2026/09/16 ~ 2026/09/18 奈良春日野国際フォーラム	58万円
大場 雄介 オオバ ユウスケ 北海道大学大学院 医学研究院・教授	Karen Oegema The University of California San Diego	第78回日本細胞生物学会大会 2026/07/12 ~ 2026/07/17 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 札幌コンベンションセンター	60万円
胡桃坂 仁志 クルマザカ ヒトシ 東京大学 定量生命科学研究所・教授	Feng Zhang ブロード研究所 (MIT・ハーバード大学)	BMB2026 (第49回日本分子生物学会年会、第99回日本生化学会大会 合同大会) 2026/12/01 ~ 2026/12/04 パシフィコ横浜	60万円

(招聘)

招聘者名 所属機関・職名	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地	助成金額
清水 逸平 シミス イッペイ 国立循環器病研究センター 研究所 心血管老化制御部・部長	Guido Kroemer Universite Paris Cite	Society for Heart and Vascular Metabolism (SHVM) 2026/10/26 ~ 2026/10/29 大阪国際会議場 12F 特別会議場	60 万円
中島 裕史 ナカジマ ヒロシ 千葉大学 大学院医学研究院・教授	Nicolas Avila Cardiovascular Research Inst School of Medicine UCSF	第3回日本サイトカイン学会 学術集会 2026/07/08 ~ 2026/07/11 京成ホテルミラマーレ	50 万円
袴田 秀樹 ハカタ ヒデキ 東京薬科大学 薬学部 分析化学教室・薬学部長	Joel P. Schneider National Cancer Institute	日本薬学会第147年会 2027/03/25 ~ 2027/03/29 八王子市 いちようホール (八王子市芸術文化会館) ほか	60 万円
等 誠司 ヒトシ センジ 滋賀医科大学 生理学講座 統合臓器生理学部門・教授	Li Gan Weill Cornell Medicine USA	NEURO2026 (日本神経科学学会、日本神経化学会、日本神経回路学会合同大会) 2026/07/30 ~ 2026/08/02 神戸国際会議場/神戸国際展示場	60 万円

前記のとおりご報告いたします。

令和8年6月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩野元三